

2010年度 理事会議事要録

2010年第1回理事会（対面）

開催日時：2010年9月8日（水）

12:00～15:00

場所：早稲田大学早稲田キャンパス3号館

出席者：椿（会長）、渡辺（副会長）、会田、
鎌倉、栗木、黒木、清水、鈴木、
瀬尾、永田、中西、水田、宮崎、
大西 各理事

欠席者：藤井理事

議事：

1. 理事職務分掌の確認

椿会長から職務分掌について説明があった。

2. 応用統計学会の今後について

当学会の赤字体質が最大の問題であるが、様々な観点から当会の今後について議論がなされた。主な論点は次の2点であるが、本件については継続審議となった。

2a) 財務体質の改善

2b) 当学会の役割の明確化

3. 理事会活動を支える委員会設置について

椿会長から次の2つの委員会の設置が提案され、承認された。

3a) 教育・普及委員会

委員長：田栗元応用統計学会長、

副委員長：渡辺副会長

委員：会田理事、椿会長、鈴木理事、

中西理事、藤井理事

3b) 広報会員拡大委員会

委員長：藤井理事、

委員：瀬尾理事、会田理事、鈴木理事、

椿会長

4. 横幹連合総会議決に基づく依頼について

研究プロジェクトへの参画を要請され、3つのプロジェクトに参加することが決まった。

4a) 経営高度化プロジェクト：（椿会長）

4b) 初中等問題解決型教育に関するプロジェクト：（渡辺副会長）

4c) 農業の6次産業他：（鎌倉理事）

5. 統計関連学会連合に関する問題

統計関連学会連合大会に関して、来年度（九大）および再来年度（北大）の実施に協力することを確認した。

6. 入会者の承認

入会申込者（1名）について審議し、入会を承認した。

7. その他

7a) 年度内にあと2回対面の理事会を行うことに決定した。

7b) 収益事業についてはメールアドレスで議論することとなった。

報告事項：

永田編集理事から報告があり、次のことを決めた：

・学会誌「応用統計学」の直近2年分については非公開とし、パスワードを設定する。

2010年度第2回理事会（対面）

開催日時：2010年12月21日（水）

18:15～20:30

場所：統計数理研究所八重洲分室

出席者：椿（会長）、渡辺（副会長）、鎌倉、
栗木、鈴木、瀬尾、永田、中西、
宮崎、大西 各理事

欠席者：会田、黒木、清水、藤井、水田
各理事

議事：

1. 横幹連合の理事候補者の推薦
田村先生（統計数理研究所）を推薦することを決定した。
 2. 2011 年度の日本計量生物学会との合同年次大会におけるチュートリアル企画
藤澤先生（統計数理研究所）に依頼することを決定した
2a) 清水理事が藤澤先生に依頼する
2b) タイトルは「ロバスト推測～外れ値への対策」を予定
2c) 大阪大学医学部で行う
2d) 会場手配は日本計量生物学会にお願いする。（2012 年度は応用統計学会が行う）
2e) ポスターセッション用のボードが高額のため、何らかの対策が必要
 3. 日本学術会議会員及び連携会員の候補者に関する情報提供
北川先生（統計数理研究所）、田栗先生（大学入試センター）、椿会長、渡辺副会長、鎌倉理事、中西理事の 6 名の情報を提供することを決定した。
 4. 2011 年度統計関連学会連合大会における「応用統計学会企画セッション」
清水理事から次のような提案があった：
「今年度、清水理事が個人として企画した「環境・生態データのモデル化と解析」を 2011 年度に学会の企画セッションとして行うこと、及び、学会誌「応用統計学」で特集号を組むこと」
前半については特に異論がなかったが、後半については学会の財政状況を考えると何らかの方策が必要ということで意見が一致した。
 5. 「応用統計学」の投稿規程の改訂など
- 黒木編集理事の提案どおり改訂することを決定した。また、永田編集理事から編集状況について説明があった。
- 5a) 編集状況
 - 5b) 特集号「大学入試」
 - 5c) JSTAGE
6. 長期会費滞納者などへの対応
原案どおり承認した。
 7. 年度内に 1 回行うチュートリアル企画
年度内の開催は困難という結論に達した。収益性をアップさせるためのチュートリアルの案としては次のものが議論された。
7a) 統計数理研究所の機械学習 NOE にチュートリアルを依頼するのはどうか
7b) 「応用統計学」の特集号「大学入試」に関するチュートリアルを行うのはどうか
7c) 最近本を出版した先生にレクチャーをお願いするというのはどうか
 8. シンフォニカへの事務委託費
1 月に椿会長が伊藤理事長と交渉し、事務委託費の引き下げをお願いすることに決定した。引き下げを行う期間は 3～5 年
 9. 「応用統計学」に関するコスト削減
宮崎会計理事から 2009 年度の実績ベースでの収支状況が報告され「10 ページを超える論文についてはページ当たり 1 万円のページチャージを請求する」ことが提案された。この提案を評議員会で審議にかけることを決定した。また、印刷費の削減についても調査することにした。
 10. その也

10a) 次回の対面理事会は 3 月に統計数理研究所で行うことに決定した。詳細についてはメールにて調整する。

10b) 椿会長から横幹連合に関する報告があった。

2010 年度第 3 回理事会 (対面)

開催日時： 2011 年 3 月 1 日 (火)

18:00~20:00

場所：統計数理研究所 (立川)

出席者：椿 (会長), 栗木, 黒木, 清水, 瀬尾, 永田, 中西, 水田, 大西 各理事

欠席者：渡辺 (副会長), 会田, 鎌倉, 鈴木, 藤井, 宮崎 各理事

議事：

1. 「応用統計学」の投稿規程

次の規程の追加を評議員会で審議することを決定した。「10 ページを超える論文については, 10 ページを超える部分に対し 1 ページあたり 1 万円のページチャージを請求する」

2. 「応用統計学」の印刷費削減

仕様を指定して複数の業者に見積もりを依頼することを決定した。

3. シンフォニカへの事務委託費に関する引き下げ交渉

2011 年度から 3 年間, 現状の 120 万円から 75 万円への引き下げること交渉が合意に達し, 理事会で承認された。

4. 日本計量生物学会との合同年次大会 (2011 年度)

ポスターセッション用のボードが高額 (11 万円程度) であるが, 特に対策をしない。

5. 連合大会 (2011 年度) における「応用

統計学会企画セッション」

清水理事から次の 3 つを学会企画セッションとして申し込んだとの報告があった。

(1) 応用統計学会 学会受賞者講演

(2) 環境・生態データのモデル化と解析

(3) タイトル未定 (日本リモートセンシング学会と応用統計学会の共催企画セッション)

6. チュートリアル企画

専門書を最近出版された先生にその専門書の解説という形のチュートリアルを行ってもらうことが提案された。

7. 「応用統計学」の編集状況など

編集理事から J-STAGE の利用にむけて作業を進めていくとの報告があった。

8. その他

(1) 広報理事のあり方を検討する必要があるとの意見があった。

(2) メール理事会を監査 (4/16) より前に行い, 決算および学会賞受賞者を承認する。

(3) 対面理事会を評議員会 (6 月) の前に行う。

報告事項：

椿会長から, 横幹連合の理事として田村先生 (統計数理研究所) と渡辺副会長が承認されたことが報告された。